

**令和6年度
神戸市BCP拡充業務**

特記仕様書

**令和6年4月
神戸市危機管理室**

第1章 総則

1. 適用範囲

本仕様書は、神戸市（以下「甲」という。）が受託者（以下「乙」という。）へ委託する「令和6年度神戸市BCP拡充業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

2. 業務目的

甲は、令和3年8月に『災害時業務継続・受援計画』（以下、「本計画」という。）を策定し、本計画に定める非常時優先業務の手順詳細や対応時期等については、『災害対応工程管理システム（BOSS）』（以下、「BOSSシステム」という。）により管理している。

本業務では、非常時優先業務の検証及びBOSSシステムでの情報整理等を行うことで、災害時に実行性の高い業務継続体制を構築することを目的とする。

3. 履行期間

本業務の履行期間は、契約日の翌日から令和7年3月31日までとする。

4. 管理技術者等

- (1) 乙は、本業務を実施するにあたって管理技術者及び担当技術者（以下「技術者等」という。）を定め、その氏名を甲に報告すること。また、技術者等を変更したときも同様とする。
- (2) 技術者等は、防災業務に精通した実務経験豊かな者でかつ下記の業務のいずれかに知見を有する者を配置すること。
 - ①BOSSシステムに関する業務
 - ②業務継続計画、受援計画に関する業務
 - ③BOSSシステムを活用した訓練に関する業務
- (3) 技術者等は、作業の進捗を図るため、十分な作業体制を整えること。

5. 提出書類

本業務について乙は、速やかに甲に下記の書類を提出し、その承認を受けること。

- (1) 着手時
 - ア 業務計画書 兼 着手届
 - イ 業務責任者 及び 管理技術者等届
- (2) 完了時
 - ア 業務完了届
 - イ 引渡書（納品書）
 - ウ 請求書

6. 受託者の責務

- (1) 乙は、本仕様書に基づき、誠実に業務を行うこと。
- (2) 乙は、本業務遂行の進捗状況その他必要事項について、適宜甲に報告すること。

7. 関係官公署との折衝

本業務遂行のために関係官公署との折衝が必要な場合、甲乙協議のうえ、対応すること。

8. 業務の打合せ

本業務期間中、乙は、甲と緊密な連絡を保ち作業するため、必要に応じて打合せを行い、業務の実効性を高めるための助言や支援を実施すること。

また、乙は、必要に応じて議事録を作成するほか、定期的に進捗状況を甲に報告すること。

9. 費用負担

本委託仕様書の実行に関わる全ての経費は、講師謝礼等を含め乙の負担とする。
ただし、訓練等実施に係る会場借り上げ経費については甲の負担とする。

10. 疑義

本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合は、甲乙が協議のうえ、業務を遂行すること。

11. その他

災害発生等による著しい被害等、社会情勢の変化により、第2章に定める業務が仕様内容と異なる場合は、甲乙が契約および仕様書の内容変更について協議すること。また、契約締結後、乙は甲にグローバルIPアドレスを提出し、甲は、提出を受けたグローバルIPアドレスから、BOSSシステムの編集が可能となる手配を行う。なお、履行完了後、甲は契約時に乙から提出を受けたグローバルIPアドレスの編集可能登録を解除する。

第2章 業務内容

1. BCPの検証に係る支援

乙は、甲が検討するBCPの検証や、BOSSシステムの浸透に向けた取り組みや訓練企画の立案について、助言を行うと共に必要な資料の作成を行う。併せて、BOSSシステムに登録されている情報を分析し、BCPの検証に必要な提言や課題抽出を行う。また、訓練等の開催に際し、学識経験者の意見聴取を行う必要があるため、乙はそれに対する支援・調整を行う。

2. 訓練等の実施

乙は、訓練等の実施日に最低4名の人員配置を行い、進行や運営、BOSSシステムへの情報登録の支援を行う。また、終了後には本事業に関する課題抽出等のとりまとめを行う。

訓練等の実施形態は、原則として参加機関の集合によるものとするが、社会情勢等によってはWEB会議活用となる。なお、訓練参加機関との日程調整、出欠確認、開催場所の確保は甲が行うが、WEB会議を活用する際は甲乙が連携してWEB会議環境を構築する。

(1) BOSSシステム研修（操作・BCPの検証に関する事項）

ア 目的

BOSSシステムの庁内浸透、操作方法の理解習熟及び登録内容の検証

イ 概要

乙は、甲が主催するシステム操作研修会において、システム操作研修マニュアルに基づいた講義を行うほか、総合的な支援を行う。本研修はBOSSシステムへの情報・資料の追加登録等、BCPの検証を促す内容とする。

また、本研修は、2日間に分けて4回程度の実施を予定しており、乙が担当するシステム操作講義は各回1時間程度とする。

(2) BCP検証訓練

ア 目的

BOSSシステムの庁内浸透及び、業務の検証

イ 訓練想定

甲乙協議の上、BOSSシステムの登録されている「避難所の運営・設置」フロー（地震編）の全区標準化や、見直しを目的としたワークショップ型訓練を企画する。また、乙は訓練検討結果を取りまとめ、BOSSシステムへ反映する。

また、本訓練の参加人数は概ね20～30名で、4時間程度を予定している。

3. スケジュール（目安）

項目	時期（目安）	形式（想定）
BOSSシステム操作研修	令和6年7月～令和6年8月	講義形式
BCP検証訓練	令和6年7月～令和6年9月	ワークショップ形式

※ 実施時期については、契約成立後、甲乙協議により決定する。

※ 形式については、乙の提案に基づき変更することも可とする。

4. 業務報告書の作成

本業務の実施結果や次年度に甲が取り組むべき事項の提言等を整理し、業務報告書を作成する。

5. 成果品

令和6年度神戸市BCP拡充業務に関連する資料一式を格納した電子媒体（CD-ROM等）2枚を神戸市危機管理室事務所へ納品する。

- ・各会議資料（議事摘要含む）
- ・業務報告書（各訓練の実施結果含む）
- ・その他、本業務で作成した資料等

以上